TEC-FORCEアドバイザーによる現地診断（福岡県みやこ町）

国土交通省
北九州国道事務所

・国道201号55kの当該箇所は、下り線側盛り土法面小段排水側溝の閉塞、プレキャスト法枠工の変状、枠内の土砂流出が見られていた。
・対策施工として排水側溝の復旧、コンクリートキャンバス工法による復旧、排水系統の変更を行った。
・今後の対策施工評価の為TEC-FORCEアドバイザーに現地診断をしていただき、意見を伺った。
参加者：**九州工業大学　永瀬（ながせ）名誉教授、廣岡（ひろおか）教授、北九州国道事務所**

● TEC-FORCEアドバイザーによる現地診断（令和7年5月29日）

現地診断

現地診断

防災検討会

【 TEC-FORCEアドバイザーの見解】
・枯草木が側溝や集水桝に集積し流れを阻害しないよう留意されたい。
・周辺環境の変化（土地利用の変化、人工改変など）により、地表水など水の流れが変わることもあるため、今後も留意されたい。（永瀬先生）
・洗堀、浸食は繰り返し発生するため、縦排水箇所だけでなく他の補修（変状）箇所にも今後留意されたい。